

ちいさなたね【乳児おたより】

あり組・ひよこ組・りす組

2020年度 10月

聖和乳幼児保育センター

暑さがやわらぎ、涼しい秋風が気持ち良い季節になってきました。9月から乳児園庭での戸外遊びが始まり、砂場で玩具を使って砂や小枝に触れてみたり、東屋やファンシーハウスのベンチに登ってみたりと自然に触れることや体を動かすことを楽しんでいる子どもたちです。初めは靴を履くことに慣れず、ひよこ組・りす組が遊んでいる様子を保育者の側でじっと見ていた子どもたちも、靴を履いて同じように遊ぼうとする姿が増え、大好きな戸外遊びの時間になっています。また、室内では絵本を保育者に読んでほしいと持ってくるが増えています。特に「むすんでひらいて」の手遊びうたが人気で、「もう一回!」と何度も人差し指を立てて表現し、繰り返し楽しんでいます。

今月は戸外遊びや散歩にたくさん出掛け、体を動かす喜びを感じながら葉っぱや木の実など自然に触れる機会を大切に過ごしていきたいと思います。



保育者が「Aくん、Bちゃん、おやつ食べよう」と声を掛けると、いつもはすぐに保育者の元へ行くAくんですが、その日はBちゃんの元へ行きました。すると「一緒に行こう!」と言わんばかりにBちゃんの顔を覗き込むAくん。その後、AくんとBちゃんが笑顔で一緒におやつを食べに行く姿に心がほっこりしました。

心地良い風が吹くようになり、秋の訪れを感じられる季節となりました。戸外遊びが大好きな子どもたちは、「お外行こうね」と声をかけると、いつも嬉しそうに帽子や靴を取りに行きます。そして準備ができると、元気いっぱい園庭へと向かい、砂場でケーキやぶどうを作って食べる真似をしたり、保育者の後を『まてまて〜』と追いかけたりと、のびのびと体を動かしながら遊びを楽しむ姿が見られます。

10月は、隣の大学の構内や森へ散歩に出かける予定です。子どもの気付きや発見を大切にしながら、木の実や落ち葉など、戸外に隠れている秋の自然を一緒に探したいと思います。どんぐりや赤・黄色に色づいた葉っぱを見つけた時の子どもたちの反応も今から楽しみです。



保育者がカメラで子どもたちの様子を撮影していると、ブロックコーナーから「はい、チーズ!」や「カシャ!」という子どもたちの声が聞こえてきました。見てみると、ブロックで作ったカメラを手に撮影ごっこを楽しむ子どもの姿がありました。何でも同じようにしたくなり、遊びへと発展していく姿に可愛さを感じた瞬間でした。

りす組の保育室では今、ごっこ遊びが大人気です。「こっちおいでーえほんはじまるよ」と保育園ごっこ、「いらっしやいませ!ピッ!(レジの音)せん(千円)です!」とお店屋さんごっこ、「かめんらいだーせいばー!」とヒーローごっこ、「きょうのごはんはびざだよ」とままごと遊びなど、あちらこちらで楽しんでいます。お家の方や私たち担任、出会った人や経験した事をよく覚えて、観察したことを再現して遊ぶ様子がとてもかわいらしくリアルで、女優さんや俳優さんのようです。そんな様子に「よく見てるなあ観察しているなあ」と感心するばかりです。また、ごっこ遊びを通して友だちとの関わりも少しずつみられるようになってきました。経験した事を通してイメージを共有したり、友だちの真似をしてみたりしながら遊びを楽しんでいます。今後も友だちと一緒に遊ぶ楽しさを感じてほしいと思います。

10月は秋も深まる季節。たくさん散歩に出かけて、何かを発見することを楽しみ、心地よい秋の自然をいっぱい感じたいと思います。また、制作では初めてハサミを使ってみたいと考えています。今月も心と体をたくさん動かし、子どもたちの「できたよ!」という気持ちを大切に過ごしていきたいと思います。

昼食時の口拭きタオルを使用しなくなった時のこと、ご飯を食べる部屋に来てキョロキョロするAくん。

保育者「口拭きタオルはもうないよ」
Bくん「そうだよー!もうおにいちゃんだからね」

Aくん「おっきくなったんだ!!」

自信満々にやりとりする姿にほっこりしました。一つひとつの成長を大切に喜び合いたいと思った瞬間でした。

